

科目名	イメージアップ講座						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科1年生						
授業概要	航空業界の就職試験では第一印象が非常に重要である。「人は見た目が9割」と言われるほど、印象により合否が左右するといっても過言ではない。第一印象の基本、外見力(ヘアメイク・表情・立ち居振る舞い・発声等)、内面力(ホスピタリティー精神・奉仕精神・躍進力等)を鍛え、やる気と活発さ、また洗練された雰囲気を持ち主になることを目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			大きく、笑声で、返事、発表が出来る	
			○			清潔感のある身嗜み(ヘアメイク・スーツの着こなし)を保つことが出来る	
	○	○	○			印象の基礎知識を理解し、それをまとめ発表することが出来る	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第一印象とは				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	2	表情管理について				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	3	印象について				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	4	パーソナルカラー				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	5	自分に似合うヘアメイク				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	6	自分に似合うスーツの着こなし				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	7	印象調査・レポート作成				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	8	レポート発表				授業で学んだことを復習する(0.5時間)	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	・レポート提出 授業最終日にレポートを提出する(A4サイズレポート用紙1枚)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	レポート提出		◎	○			
履修上の注意	授業内容の順番が変更する可能性あり						

科目名	エアライン応用						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	平田:国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	<p>キャビンアテンダント関連授業:航空機、機内の名称や仕様、インテリア等を把握し、航空機の作りを理解する。飛行機が飛ぶしくみや、現場のCAが使用する用語を習得し、理解することを目指す。</p> <p>グランドスタッフ関連授業:空港や滑走路など施設に関する知識から空港で共に働く他職種への業務理解、国際線の渡航書類など手続きに関する内容まで、地上業務を行う上で必要な知識を習得し理解する。</p>						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空機及び機内設備の各部名称を覚え、それが何の役割を果たすか説明できる	
	○					航空用語を正しく覚え、その文言を使用しながら説明できる	
	○					空港施設や滑走路などの名称を覚え、それぞれの役割や特徴を説明することができる	
	○					出発から到着までの業務の流れを理解し、業務内容を説明できる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	本授業の主旨説明と航空業界の職種理解				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	2	CA関連授業:航空機の各部名称について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	3	CA関連授業:航空機の各部名称と飛ぶ原理について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	4	CA関連授業:機内設備について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	5	CA関連授業:航空用語について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	6	CA関連授業:緊急保安①				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	7	CA関連授業:緊急保安②				試験に向け十分な学習を行うこと(1時間)	
	8	CA関連授業:試験				特に無し	
	9	GS関連授業:国内外の空港とその特徴について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	10	GS関連授業:空港施設、滑走路について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	11	GS関連授業:出発・到着の流れ、航空用語について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	12	GS関連授業:渡航書類について				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	13	GS関連授業:空港保安、イレギュラーについて				授業で学習したことを、十分に復習しておくこと(1時間)	
	14	GS関連授業:他職種理解				試験に向け十分な学習を行うこと(1時間)	
15	GS関連授業:試験				特に無し		
評価方法	(1)CA、GSそれぞれの授業の最後に試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	○				100%
履修上の注意							

科目名	運輸概論・地理						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	大岡 牧代		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	運輸系企業にて旅行業務・国際業務に従事		
対象学科・学年	エアライン科 1年						
授業概要	運輸業界で働くうえで、航空だけでなく、他の運輸機関に関する基礎知識も必須である。 この授業では、運輸業界を概観し、特に鉄道業界についての知識を習得する。 また、運輸業界に携わる際に必要な日本国内の観光地理知識を習得する。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					運輸業界には航空のほかどのような業界があるか、その種類や特徴を把握できている。	
	○					日本の鉄道業界について、大手各社の特徴や取り組みを把握できている。	
		○				自然景観や世界遺産など、観光資源になり得るものを説明することができる。	
	○					各都道府県の観光資源を知り、その特徴や所在地が把握できている。	
	○					日本各地の文化や歴史に興味を持ち、理解しようと努めることができる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・イカロス出版「鉄道業界就職ガイドブック2022」 ・成美堂出版「今がわかる 時代がわかる 日本地図 2021年版」など 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	観光資源とは、世界遺産について				授業で出てきた世界遺産を地図帳で確認し、画像検索等を活用してイメージをつかむこと。	
	2	運輸業界概観				運輸業界にはどのような種類、どのような会社があるか、調べてみる。	
	3	鉄道業界を知る～JRと大手民鉄～				JR旅客6社および新幹線の路線とその運行区間を覚えること。	
	4	運輸業界の会社組織、鉄道事業と関連事業				興味のある運輸業界の会社について、その組織や事業内容を調べてみる。	
	5	鉄道各社の取り組み				鉄道各社が運行している観光列車について、インターネット等を活用し、調べてみる。	
	6	航空業界と観光				国内大手航空会社による観光に関連する取り組みを、各社機内誌等から探してみる。	
	7	国内観光地理① — 九州・沖縄地方				授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。	
	8	国内観光地理② — 九州・沖縄地方				授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。	
	9	国内観光地理③ — 九州・沖縄地方				授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。	
	10	国内観光地理④ — 九州・沖縄地方				授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。	
	11	国内観光地理⑤ — 北海道・東北地方				授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。	
	12	国内観光地理⑥ — 関東・中部地方				授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。	
	13	国内観光地理⑦ — 近畿地方				授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。	
	14	国内観光地理⑧ — 中国・四国地方				授業で出てきた観光資源を地図帳で確認し、配布プリントの白地図に書き入れる。	
15	観光資源のまとめ				後期末試験に向けて、学習範囲の復習をしておく。		
評価方法	(1) 授業内で配布するプリントを使用した課題を回収し、評価する。 (2) 定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	課題	◎	○		◎		40%
履修上の注意							

科目名	AMADEUS I						
科目名(英)	AMADEUS I						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	平田 かおり/宮崎 みゆき		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	世界トップシェアを誇るAMADEUSシステムで航空券の予約取得について学び、アマデウスシステム検定 Specialist(初級)の合格を目指す。検定対策を通して、航空業界で使用する専門用語(空港コードや機材名、SSRコード等)を覚え、予約取得時や搭乗手続き時に、どのような確認・操作が必要になるのかを学んでいく。また、実際の現場において、授業で学んだ内容がどのように活用されるのかを、ケーススタディーを通して確認していく。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					基本用語(空港・航空会社コード)を見え、端末操作時には検索せずに予約を取得できる。	
		○				各画面の記載事項を読みとり、検定問題に正しく解答することができる。	
		○				入力エントリを習得し、一連の予約操作を1人で行うことができる。	
			○			60分以内に検定問題を正しく解くことができる。	
	○					Specialist(初級)に合格することができる。	
テキスト・教材 参考図書	アマデウスユーザーガイド(予約)、クイックガイド(早見表)、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス・検定について、サインイン・サインアウト				特になし。	
	2	情報検索①(各種コード検索、都市・空港・国コード)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	3	情報検索②(各種コード検索、航空会社・機材コード)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	4	情報検索問題演習、ヘボン式ローマ字、タイムテーブル①(画面の見方)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	5	タイムテーブル②(検定問題演習)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	6	情報検索まとめテスト、PNRとは				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	7	空席照会、ダイレクトアクセス				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	8	PNR作成演習①(基本PNR作成、PNRの再表示、PNR中断)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	9	PNR作成演習②(PNRの取り出し、乗継PNR、その他の基本エントリ)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	10	PNR作成まとめテスト①(基本PNR)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	11	PNR作成演習③(小児PNRの作成)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	12	PNR作成演習④(幼児PNRの作成)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	13	PNRのキャンセル・修正・変更				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	14	PNR作成まとめテスト②(小児・幼児PNR)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	15	SSR・OSI入力(MEAL・FFP・SEAT)				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	16	検定模擬試験①、採点と解説				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	17	検定模擬試験②、採点と解説				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	18	検定模擬試験③、採点と解説				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	19	模擬試験の振り返り				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	20	検定模擬試験④、採点と解説				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	21	検定模擬試験⑤、採点と解説				授業の復習と小テストの勉強をしておくこと。(1時間)	
	22	定期試験				定期試験の勉強をしておくこと。(2時間)	
23	検定対策まとめ、受験時の注意事項				検定に関する質問をまとめていおくこと。(1時間)		
(1)定期試験を実施する (2)課題を数回実施する (3)授業内で小テストを数回実施する (4)検定を受験する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	○		○		70%

評価方法	課題、小テスト	○			◎		20%
	検定取得状況	◎	○		○		10%
履修上の注意	テキスト・授業の内容を自身でノートにまとめ、オリジナルの早見表を作成すること。						

科目名	空港インターンシップ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	40時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2021年度	実施時期	別途調整	担当者実務経験	国際線グランドスタッフとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	学内で3回、実習先で1回の事前研修を実施し、インターンシップに必要とされる基礎知識(専門用語や敬語、社会人としてのマナーなど)を身に付けていく。その後、空港における地上職(グランドスタッフ)の就業体験を通して、実践的スキルを習得する。						
授業形式	講義:	△	演習:	実習:	○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					空港での接客時に用いる敬語や言い回しを見え、実際にお客様と会話することができる。	
	○					航空業界用語について字ひ、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人として、また空港職員として適切な行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
	○				自ら仕事を見つけ、社員に対して提案することができる。		
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント、各企業からの配布資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	エアラインゼミ(実習前研修)① 身だしなみ確認、シフト作成、専門用語の確認、履歴書提出				プリントを事前に読んでおくこと。 (0.5時間)	
	2	エアラインゼミ(実習前研修)② 入社時のマナー、緊急時の連絡方法、貸与物の管理				プリントを事前に読んでおくこと。 (0.5時間)	
	3	エアラインゼミ(実習前研修)③ 実習先企業でのオリエンテーション				プリントを事前に読んでおくこと。 (0.5時間)	
	4	エアラインゼミ(実習前研修)④ 確認テスト、接客ロールプレイ、実習における目標設定				プリントを事前に読んでおくこと。 (0.5時間)	
	5 ~	各企業でのインターンシップ				シフト表を確認し、業務内容を把握しておくこと。	
評価方法	(1)事前研修最終日に2レター・3レター・用語の確認テストを実施する。 (2)月に15~20日程度出勤をし、お客様のご案内やオフィス内業務を行う。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	業務状況・報告書提出				◎		100%
履修上の注意	第4回のエアラインゼミにおいて最終確認(身だしなみ、用語)をし、実習に参加できるかどうかの可否判断を行う。						

科目名	キャビンアテンダント業務 I								
科目名(英)									
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者					
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験					
対象学科・学年	エアライン科1年生								
授業概要	キャビンアテンダント(以下CA)を目指す学生を対象に開講する。国内線CAの日常業務を理解し、知識を習得する。CAの業務には大きく、保安業務とサービス業務がある。とかくサービス業務がクローズアップされがちだが、CAは保安要員としての役割と自覚が非常に重要である。保安要員としての役割も正確に理解し、知識の習得だけに留まらず、同時に責任ある行動、発言、正義感を育成していくことも目指す。								
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標			
			○			清潔感のある身嗜み(ヘアメイク・スーツの着こなし)を保つことができる。			
		○				CA業務の基本知識を説明することができる。			
			○			ドリンクサービス業務を正確に行うことができる。			
		○	○			保安優先の行動ができる。			
テキスト・教材 参考図書	プリント								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	授業の心構え・CA業務の基礎知識の理解				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	2	CA業務の一連の流れの理解(国内線)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	3	立居振舞いの練習と実践練習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	4	美しい接客用語の習得と実践練習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	5	顧客心理(一般のお客様の心理を知る)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	6	顧客心理(VIP・多頻度旅客の心理を知る)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	7	ドリンクサービス(基本動作)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	8	ドリンクサービス(事例あり)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	9	ドリンクサービス(事例あり)				習得した知識や動きを復習すること 実技試験まで練習に励むこと(0.5時間)			
	10	機内アナウンスの基本知識(意義・品質・技術)の習得と実践練習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	11	保安業務の理解(日常業務の保安業務)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	12	安全性チェックの理解と実践練習				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	13	安全性チェック(事例あり)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	14	火災・急減圧・急病人発生・機内準備				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
	15	実技試験(ドリンクサービス)				習得した知識や動きを復習すること(0.5時間)			
評価方法	・ 機内ドリンクサービスの実技試験を授業最終日に行う (チェック項目:第一印象・身嗜み・メイク・所作・基本動作・笑顔・親しみやすさ・手際の良さ) ※笑顔・親しみやすさ・手際の良さに関しては、実フライトでの判断基準を参考にする ・ 数回レポート課題を出す								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	実技試験		○	◎			90%		
提出物	○	◎		○		10%			
履修上の注意									

科目名	グランドスタッフ業務 I						
科目名(英)	Ground Staff Course I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	平田 かおり		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	グランドスタッフの職種理解を深め、専門性を身に付ける。航空業界の現場で必要とされる知識を習得し 実技を通して接客の技術を磨くことにより、即戦力として活躍できる人材を目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					航空業界、グランドスタッフに必要な専門用語を理解し、使用することができる。	
	○	○				グランドスタッフの業務の流れを理解し、それぞれの役割について説明できる。	
				○		正しい言葉遣いやお客様への対応力を身に付け、授業内のロールプレイで実践できる。	
テキスト・教材 参考図書	・エアポートビジネス入門 ・プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	GSの仕事とは・目標設定				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	2	接客に必要な心構え・言葉遣い				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	3	国内線と国際線の違い				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	4	出発業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	5	チェックインロールプレイ①				敬語の復習をしておくこと(0.5時間)	
	6	チェックインロールプレイ②				ロールプレイの復習をしておくこと(0.5時間)	
	7	到着業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	8	手荷物事故				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	9	特別旅客				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	10	多頻度旅客				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	11	チェックインロールプレイ③				ロールプレイの復習をしておくこと(0.5時間)	
	12	チェックインロールプレイ④				ロールプレイの復習をしておくこと(0.5時間)	
	13	空港アナウンス				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	14	ロードコントロール業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと(0.5時間)	
	15	まとめテスト(筆記)				授業の内容をしっかりと復習して臨むこと(0.5時間)	
評価方法	(1)授業の中で小テストを5回実施する。(2)宿題・レポートを数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	筆記試験	◎	○				50%
	実技試験		◎	◎	○		50%
履修上の注意							

科目名	実用英語 I B					
科目名(英)	Practical English I B					
単位数	6単位	時間数	90	担当者		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	航空業界という国際的なステージで活躍するためには、英語運用能力を十分に習得しておく必要がある。そのため、航空業界の就職においては、応募条件として英語能力を掲げられている(TOEICがCA:600点以上、GS:550点以上)。実際に現場では、旅客への対応だけでなく、海外スタッフとのコミュニケーションをとったり渡航書類の確認したりと、業務において英語を活用する頻度は高い。この授業では、TOEIC730点以上の取得を目指し、問題演習を通じて英語運用能力を高めていく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞り場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。
テキスト・教材 参考図書	「公式TOEIC Listening&Readingトレーニング リーディング編・リスニング編」、TOEIC新形式精選模試					
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業概要説明・単語テストルール説明・Listening/Section1			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	2	Listening/Section2, Reading/Part5・6, 解法確認(品詞問題)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	3	Listening/Section3, Reading/Part5・6, 解法確認(動詞問題)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	4	Listening/Section4, Reading/Part5・6, 解法確認(前置詞・接続詞問題)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	5	Listening/Section5, Reading/Part7, 解法確認(読解)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	6	Listening/Section6, Reading/Part7, 解法確認(読解)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	7	Listening/Section7, Reading/Part7, 解法確認(読解)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	8	Listening/Section8, Reading/Part7, 解法確認(読解)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	9	Listening/Section9, Reading/Section1			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	10	Listening/Section10, Reading/Section2			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	11	Listening/Section11, Reading/Section3			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	12	Listening/Section12, Reading/Section4			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	13	模擬試験①(Reading)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	14	模擬試験①(Listening)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	15	模擬試験②(Reading)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	16	模擬試験②(Listening)			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	17	TOEICまとめ、受験時の注意			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	18	Listening/Section13, Reading/Section5			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	19	Listening/Section14, Reading/Section6			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	20	Listening/Section15, Reading/Section7			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	21	Listening/Section16, Reading/Section8			意味を把握できていない単語について調べること。 別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	

授業計画	22	Listening/Section17, Reading/Section9	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	23	Listening/Section18, Reading/Section10	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	24	Listening/Section19, Reading/Section11	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	25	Listening/Section20, Reading/Section12	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	26	模擬試験③(Reading)	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	27	模擬試験③(Listening)	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	28	Listening模擬問題①, Reading/Section13	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	29	Listening模擬問題②, Reading/Section14	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	30	Listening模擬問題③, Reading/Section15	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	31	Listening模擬問題④, Reading/Section16	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	32	Listening模擬問題⑤, Reading/Section17	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	33	Listening模擬問題⑥, Reading/Section18	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	34	Listening模擬問題⑦, Reading/Section19	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	35	Listening模擬問題⑧, Reading/Section20	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	36	模擬試験④(Reading)	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	37	模擬試験④(Listening)	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	38	模擬試験⑤(Reading)	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	39	模擬試験⑤(Listening)	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	40	TOEICまとめ、受験時の注意、質疑応答	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	41	TOEIC Part別対策のまとめ① - Partごとの解法確認	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	42	TOEIC Part別対策のまとめ② - Part別注意事項確認	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	43	TOEIC Part別対策のまとめ③ - 時間内に全ての問題を解く	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	44	TOEIC Part別対策のまとめ④ - 時間内に解き目標数を正解する	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	45	後期まとめ、期末試験について、質疑応答	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	○				60%
検定取得状況		◎	○				30%
小テスト・課題		◎	○		○		10%
履修上の注意	授業中に小テストを受験できなかった学生は、必ず宮崎へ申し出てください。(別途、対応をします)						

科目名	実用英語 I B					
科目名(英)	Practical English I B					
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	宮崎 みゆき	
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	空港にて国際線グランドスタッフとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科・1年					
授業概要	航空業界という国際的なステージで活躍するためには、英語運用能力を十分に習得しておく必要がある。そのため、航空業界の就職においては、応募条件として英語能力を掲げられている(TOEICでCA:600点以上、GS:550点以上)。実際に現場では、旅客への対応だけでなく、海外スタッフとのコミュニケーションをとったり渡航書類の確認したりと、業務において英語を活用する頻度は高い。この授業では、英検2級・TOEIC500点以上の取得を目指し、問題演習を通じて英語運用能力を高めていく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・自分の仕事に関連した日常業務のやりかたについての説明を理解できる。 ・次回ミーティングが、いつ、どこで行われるかについての説明を理解できる。
	○	○				社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・留守電のメッセージを聞き、相手の用件や電話番号等が聞き取れる。 ・入国管理官に、滞り場所、期間、旅の目的を英語で聞かれた時、質問が理解できる。
テキスト・教材 参考図書	「公式TOEIC Listening & Readingトレーニング リーディング編・リスニング編」、TOEIC公式問題集、英検2級過去問題					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	授業概要説明、英検2級の問題構成、レベルチェックテスト			特になし。	
	2	過去問題演習1.1ーリスニング、語彙・文法			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	3	過去問題演習1.2ーリスニング、語彙・文法、長文の空欄補充			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	4	過去問題演習1.3ーリスニング、長文の内容一致選択			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	5	過去問題演習1.4ーリスニング、長文の内容一致選択、ライティング			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	6	過去問題演習2.1ーリスニング、語彙・文法			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	7	過去問題演習2.2ーリスニング、語彙・文法、長文の空欄補充			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	8	過去問題演習2.3ーリスニング、長文の内容一致選択			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	9	過去問題演習2.4ーリスニング、長文の内容一致選択、ライティング			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	10	模擬試験、解説			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	11	2級対策まとめ、受験時の注意			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	12	TOEIC概要説明、Part別の解法について			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	13	Listening/Part1解法確認、Reading/Part5解法確認			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	14	Listening/Part2解法確認、Reading/Part5解法確認、品詞問題			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	15	Listening/Part3解法確認、Reading/Part5解法確認、品詞問題			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	16	Listening/Part4解法確認、Reading/Part5解法確認、動詞問題			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	17	Listening/Section1、Reading/Part5解法確認、動詞問題			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	18	Listening/Section2、Reading/Part6解法確認			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	19	Listening/Section3、Reading/Part7解法確認			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	20	Listening/Section4、Reading/Section1			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	21	Listening/Section5、Reading/Section2			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
	22	Listening/Section6、Reading/Section3			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)	
23	Listening/Section7、Reading/Section4			意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)		

	24	Listening/Section8、Reading/Section5	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	25	Listening/Section9、Reading/Section6	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	26	Listening/Section10、Reading/Section7	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	27	Listening模擬試験①、Reading/Section8	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	28	Listening/Section11、Reading/Section9	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	29	Listening/Section12、Reading/Section10	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	30	Listening/Section13、Reading模擬試験①	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	31	Listening/Section14、Reading/Section11	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	32	Listening/Section15、Reading/Section12	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	33	Listening/Section16、Reading/Section13	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	34	Listening/Section17、Reading/Section14	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	35	Listening/Section18、Reading/Section15	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	36	Listening/Section19、Reading/Section16	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	37	Listening/Section20、Reading/Section17	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	38	TOEIC対策まとめ、受験時の注意	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	39	過去問題演習3.1ーリスニング、語彙・文法	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	40	過去問題演習3.2ーリスニング、語彙・文法、長文の空欄補充	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	41	過去問題演習3.3ーリスニング、長文の内容一致選択	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	42	過去問題演習3.4ーリスニング、長文の内容一致選択、ライティング	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	43	模擬試験②、解説	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	44	模擬試験③、解説	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
	45	英検2級対策まとめ、検定受験時の注意	意味を把握できていない単語について調べること。別途指示をした課題に取り組むこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	授業中に小テストを受験できなかった学生は、必ず申し出てください。(別途、対応をします) 全ての小テスト受験、課題提出をお願いします。						

科目名	実用英語 I B									
科目名(英)	Practical English I B									
単位数	6単位	時間数	90時間	担当者	村上 舞					
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験						
対象学科・学年	エアライン科1年									
授業概要	国際化が進む中、航空業界をはじめサービス業界全般で英語能力が求められているため、基礎力の向上を目指す。英語運用能力を測る代表的な資格として、実用英語検定準2級の取得を目標とする。またTOEIC受験において、分野別問題解法ポイントを習得する。									
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				中学卒業程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。				
	○	○				会話文・アナウンスの聞き取りを強化し、リスニング力を身に付ける。				
	○	○				基本構文を用いた文章作成能力を高め、英作文力を身に付ける。				
	○	○				英検3級、準2級頻出単語を覚え、意味を正しく捉えることができる。				
テキスト・教材 参考図書	過去問題、プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:解法の確認)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	2	英検準2級対策(リスニング、長文読解:解法の確認)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	3	英検準2級対策(リスニング、英作文:解法の確認)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	4	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:基礎問題演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	5	英検準2級対策(リスニング、長文読解:基礎問題演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	6	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:応用問題演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	7	模擬試験①				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	8	模擬試験②、対策まとめ・質疑応答				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	9	一次試験の振り返り、二次試験対策				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	10	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:解法の確認)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	11	英検準2級対策(リスニング、長文読解:解法の確認)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	12	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:基礎問題演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	13	英検準2級対策(リスニング、長文読解:基礎問題演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	14	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:応用問題演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	15	英検準2級対策(リスニング、長文読解:応用問題演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	16	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題①演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	17	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題①演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	18	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題①演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	19	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題②演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	20	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題②演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	21	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題②演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	22	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題③演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	23	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題③演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
	24	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題③演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)				
25	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)				授業の復習と次回授業の予習(1時間)					

26	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
27	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
28	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
29	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
30	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
31	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
32	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
33	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題④演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
34	英検準2級模擬試験	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
35	TOEIC概要、各Partの解き方について	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
36	TOEIC概要、各Part問題演習①	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
37	TOEIC概要、各Part問題演習②	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
38	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題⑤演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
39	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題⑤演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
40	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題⑤演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
41	英検準2級対策(リスニング、英作文:過去問題⑤演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
42	英検準2級対策(リスニング、語彙・文法:過去問題⑥演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
43	英検準2級対策(リスニング、会話文:過去問題⑥演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
44	英検準2級対策(リスニング、長文読解:過去問題⑥演習)	授業の復習と次回授業の予習(1時間)					
45	英検準2級対策(リスニング、英作文:過去問題⑥演習)	授業の復習(1時間)					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 検定を受験する。(3) 数回、小テストや課題を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	検定取得状況	◎	○				30%
	小テスト・課題	◎	○		○		10%
履修上の注意	課題の提出状況や授業中の取り組み姿勢も平常点として評価考慮するため、日々の定着学習を心掛けること。						

科目名	総合英語 I B									
科目名(英)	General English I B									
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	野々村 賢一					
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験						
対象学科・学年	エアライン科1年									
授業概要	TOEIC600点取得を目標とする。まず語彙力強化のため復習単語テストを行う。またTOEICの頻出パターンをリスニングとリーディングを並行して学習していく。リスニングにおいては、全体の内容把握だけでなく、重要な部分を細部まで聞き取れるようにディクテーションを行う。また2倍速の音源を利用し情報処理能力を上げていく。この授業を通して総合的英語力の向上をめざし、社会生活に必要な英語が使えるようになる。									
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		実技:		※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○	○				TOEIC600点以上のスコアを取得できる。				
	○	○				TOEIC600点レベルの単語を覚え、品詞・意味を答えることができる。				
	○	○				Part5において、文構造を把握し、適切な品詞や文法が理解できる				
	○	○				ヒンズ英語の語彙とTOEICの頻出パターンを理解し、Part7に対応出来る読解力を身に付ける。				
テキスト・教材 参考図書	オリジナルテキスト TOEIC公式問題集									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	シラバス、自己紹介、TOEICの概要説明								
	2	Part 1の傾向と対策・Part 5の傾向と対策								
	3	Part 1の実践問題①・Part 5の実践問題①				前回の授業の復習				
	4	Part 1の実践問題②・Part 5の実践問題②				前回の授業の復習				
	5	Part 1の実践問題③・Part 5の実践問題③				前回の授業の復習				
	6	Part 1 まとめのテスト Part2の傾向と対策				前回の授業の復習				
	7	Part2の実践問題①・Part 5の実践問題④				前回の授業の復習				
	8	Part 2の実践問題②・Part 5の実践問題⑤				前回の授業の復習				
	9	Part 2の実践問題③・Part 5の実践問題⑥				前回の授業の復習				
	10	Part 1/2 まとめのテスト Part 3の傾向と対策				前回の授業の復習				
	11	Part 3の実践問題①・Part 5の実践問題⑦				前回の授業の復習				
	12	Part 3の実践問題②・Part 5の実践問題⑧				前回の授業の復習				
	13	Part 3の実践問題③・Part 5の実践問題⑨				前回の授業の復習				
	14	Part 5まとめのテスト				前回の授業の復習				
	15	Part 1/2/3まとめのテスト				前回の授業の復習				
	16	Part 4の傾向と対策・Part 7の傾向と対策				前回の授業の復習				
	17	Part 4の実践問題①・Part 7の実践問題①				前回の授業の復習				
	18	Part 4の実践問題②・Part 7の実践問題②				前回の授業の復習				
	19	Part 4の実践問題③・Part 7の実践問題③				前回の授業の復習				
	20	Part 4の実践問題④・Part 7の実践問題④				前回の授業の復習				
	21	Part 4の実践問題⑤・Part 7の実践問題⑤				前回の授業の復習				
	22	リスニング総合問題・Part 7の実践問題⑥				前回の授業の復習				
	23	リスニング総合問題・Part 7の実践問題⑦				前回の授業の復習				
24	リスニング総合問題・Part 7の実践問題⑧				前回の授業の復習					

	25	公式問題集対策	前回の授業の復習				
	26	公式問題集対策	前回の授業の復習				
	27	まとめのテスト	前回の授業の復習				
	28						
	29						
	30						
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ポキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。 (4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ポキャブラリーコンテストの結果	◎	○				30%
	小テスト・宿題	◎	○				10%
履修上の注意	出席が30回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B					
科目名(英)	General English I B					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、前期で学んだ品詞や基礎文法を活用し、文法への理解をさらに深めていく。また、Part5,6の問題演習を行い、各項目ごとのアプローチ方法を学んでいく。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					各品詞の働きを理解し、TOEIC Part.5/6の問題で正しい選択肢を選ぶことができる。
	○					TOEIC730点レベルの単語の意味を覚え、正しくスペリング・発音ができる。
		○				基本5文型を理解し、英文を正しく解釈して意味をとることができる。
		○				TOEIC Part.5/6に頻出の問題タイプを把握しておき、すぐに解法を判断できる。
テキスト・教材 参考図書	朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』 旺文社「とってもやさしい英文法」 南雲堂「英文法 高校初級・中級用 1」(発展30日完成シリーズ)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト、シラバス配布、ポキヤブラリーコンテスト説明			特になし。	
	2	単語テスト①、文型①			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	3	単語テスト②、文型②			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	4	単語テスト③、時制①			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	5	単語テスト④、時制②			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	6	単語テスト⑤、助動詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	7	単語テスト⑥、不定詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	8	単語テスト⑦、動名詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	9	単語テスト⑧、分詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	10	単語テスト⑨、分詞構文			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	11	単語テスト⑩、関係代名詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	12	単語テスト⑪、関係副詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	13	単語テスト⑫、接続詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	14	単語テスト⑬、間接疑問文			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	15	単語テスト⑭、比較①			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	16	単語テスト⑮、比較②			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	17	単語テスト⑯、使役動詞・知覚動詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	18	単語テスト⑰、仮定法①			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	19	単語テスト⑱、仮定法②			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	20	単語テスト⑲、重要構文①			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	21	単語テスト⑳、重要構文②			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	22	演習問題①			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	23	演習問題②			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	

	24	ポキャブラリーコンテスト(12月17日 木曜日)	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	25	演習問題③	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	26	演習問題④	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	27	演習問題⑤	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	28	演習問題⑥	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	29	演習問題⑦	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	30	前期のまとめ	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ポキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。 (4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ポキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合英語 I B					
科目名(英)	General English I B					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	平田 かおり	
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	国際線GSとして勤務	
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	航空業界という国際的なステージで十分に活躍できる英語運用能力を付ける必要がある。特に航空業界においては、TOEICのスコア(CA:600点以上、GS:550点以上)が応募条件の1つとなっている。この授業では、まず英語基本文法の復習を行い、英検やTOEICで活用できるようになる。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				高校中級程度の基礎文法を理解し、文脈を正しく捉え読解できる。
	○			○		TOEIC頻出単語200語を覚え、意味を正しく選択できる。
		○				適切な文法と語彙を用いて、英作文を書くことができる。
テキスト・教材 参考図書	南雲堂『基礎からの英語入門 First Primer』、朝日新聞出版『TOEIC®L&R TEST出る単特急 金のフレーズ』、オリジナルプリント					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	レベルチェックテスト			特になし。	
	2	シラバス配布、ポキャブラリーコンテスト説明			特になし。	
	3	単語テスト①、比較			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	4	命令文・感嘆文			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	5	単語テスト②、接続詞(Ⅰ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	6	不定詞(Ⅰ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	7	単語テスト③、動名詞(Ⅰ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	8	受動態			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	9	単語テスト④、現在完了形			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	10	接続詞(Ⅱ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	11	単語テスト⑤、時制の一致			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	12	ポキャブラリーコンテスト中間テスト			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	13	単語テスト⑥、5つの基本文型			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	14	各種疑問文			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	15	単語テスト⑦、まとめ問題演習			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	16	不定詞(Ⅱ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	17	単語テスト⑧、Itの特別用法			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	18	分詞(Ⅱ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	19	単語テスト⑨、動名詞(Ⅱ)			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	20	関係代名詞			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	21	単語テスト⑩、まとめ問題演習			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	22	まとめ問題演習			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
	23	ポキャブラリーコンテスト直前テスト			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)	
24	ポキャブラリーコンテスト			前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)		

	25	まとめ問題演習	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	26	まとめ問題演習	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	27	まとめ問題演習	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	28	まとめ問題演習	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	29	後期まとめ問題演習	前回の内容を復習しておくこと。 単語テストの範囲を勉強しておくこと。(1時間)				
	30	後期振り返り					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) ポキャブラリーコンテストを実施する。(3) 授業内で小テストを実施する。 (4) 数回、宿題を課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	ポキャブラリーコンテストの結果	◎	○		○		20%
	小テスト・宿題				○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	韓国語 I						
科目名(英)	Korean I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	盧 愛蓮		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	韓国の言葉、読み書き習得を中心に就職活動に役立つよう実力を身につけさせると共に、最も近い隣国である韓国への理解や文化の違いなどを盛り込み、国際人としての識見も備わるよう指導する。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					語彙力を増やし、それぞれの意味について説明することができる。	
		○	○			Listening力を鍛え、意味を理解し答えることができる。	
	○	○				基本の文法を理解し、小テストに合格することができる。	
	○	○				読解力を身に付け、単語や文章の意味を理解し説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶ韓国語						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	韓国語について					
	2	基礎 文字づくり①					
	3	基礎 文字づくり②					
	4	基礎 文字づくり③					
	5	基礎 文字づくり④					
	6	基礎 単語、仕組みの中のパッチムについて					
	7	基礎続き 文字慣れ 発音変化 その①					
	8	基礎続き 発音変化②					
	9	1課 挨拶、簡単な自己紹介①					
	10	1課 挨拶、簡単な自己紹介②					
	11	2課 疑問文①					
	12	2課 疑問文②					
	13	3課 否定文①					
	14	3課 否定文②					
	15	総まとめ 定期試験対策					
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 実力に(抜きん出ている生徒等は授業の他に検定試験に向けての指導をする。過去問題等を解かせたり、先に進めて別テストを行う 3. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 4. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	中国語 I						
科目名(英)	Chinese I						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	王 波		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン科1年						
授業概要	中国語をマスターするための第一歩は発音です。ゆっくり時間をかけてピンインの発声を習得します。その次に、基本的な文法をふまえながら、できるだけ日常生活に合わせた常用語を数多く取り入れ、中国語の文章表現を修得し、応用できるよう学んでいきます。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○	その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					語彙力を増やし、それぞれの意味について説明することができる。	
	○	○	○			Listening力を鍛え、意味を理解し答えることができる。	
	○	○				基本の文法を理解し、小テストに合格することができる。	
	○	○				読解力を身に付け、単語や文章の意味を理解し説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	中国語はじめての一步						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	中国語入門 中国語の特徴及び習い方 自己紹介					
	2	自己紹介を復習して、ピンインの発声練習及び四声					
	3	単母音と子音をマスターして、四声を繰り返して、発音の特徴を					
	4	前回の復習 複合母音と四声のつけ場所 数字の練習					
	5	ピンインの発音チェックと発音練習					
	6	第1課 文法ポイント 是という判断文の文型					
	7	単語を読みながら、文法に基づいて会話する					
	8	文の解釈と応用プリント					
	9	小テスト 第2課 文法ポイント					
	10	指示代名詞と副詞と疑問詞					
	11	自分の苗字と出身地を中国語で言えるよう、人に聞けるよう					
	12	単語を読みながら、文法に基づいて会話する					
	13	一部の動詞を勉強して、更に会話の実力をアップする					
	14	復習プリント					
15	期末テスト範囲						
評価方法	1. 授業中に小テストを回実施する。 2. 授業中に小テストを期末テストと合わせ、平常点として加算する。 3. 成績評価 S(90点以上) A(80点以上) B(70点以上) C(60点以上)D(50点以下)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テストや授業態度	◎	○	○	○		50%
履修上の注意							

科目名	SPI対策 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎・村上・合力・中山		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	航空業界の各企業で実施をされるテストセンターやWEBテスト、ペーパーテストの対策として、SPIの頻出テーマの応用問題に取り組んでいく。この授業では、前期に学んだ解き方を活用して、制限時間内に正解を導き出す力を養う。また、WEBテストの四則逆算問題対策として、毎回ドリルに取り組む。						
授業形式	講義:	○	演習:	△	実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:	○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					前期に学んだ解き方を用いて、応用問題を解くことができる。	
	○					計算時間を短縮する工夫を学び、目標時間内に問題を解くことができる。	
	○					四則逆算の問題を制限時間内に、目標数解くことができる。	
				○		SPI非言語分野頻出テーマの問題の解き方を他者に対して説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	教材:「最新最強のSPIクリア問題集」成美堂出版、オリジナルプリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	第1回レベルチェック(クラス分け)テスト				後期使用テキストで、SPIの主な問題範囲を確認しておくこと。(0.5時間)	
	2	仕事算				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。(0.5時間)	
	3	損益算				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	4	速さ(時刻表)、二語の関係①				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	5	速さ(旅人算)、二語の関係②				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	6	集合、場合の数				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	7	復習・問題演習①				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	8	第2回レベルチェック(クラス分け)テスト				試験範囲を復習しておくこと。(2時間)	
	9	確率、語句の用法				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	10	割引料金と精算、短文の意味				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	11	割合(分割払い)				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	12	図表の読み取り				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	13	推論①、短文の穴埋め				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
	14	推論②				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)	
15	後期まとめ				テキストプリントの当該範囲を事前に読んでおくこと。前回学んだ内容を自宅で復習しておくこと。(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)宿題を課す。 (3)中間テストとして、第2回レベルチェックテストを実施する。(4)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	中間テスト (第2回レベルチェックテスト)	◎	◎				20%
出席回数・宿題・確認テスト等	○			◎		10%	
履修上の注意	特になし。						

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮崎 みゆき		
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験	空港にて国際線GSとして勤務		
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の企業の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					漢字検定準2級程度の漢字までの読み書きができる	
	○					方程式・因数分解などの問題を理解し解答することができる	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる	
	○					日本をはじめとした主要国の地理や政治についての基礎的な内容を理解し説明ができる	
テキスト・教材 参考図書	「専門学校生のための一般常識トレーニング」 一ツ橋出版 第4版 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	シラバス説明、第3回実力テスト				次回学習部分に目を通しておく(0.5時間)	
	2	ROUND11: 漢字の知識、国際組織、英単語の知識				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	3	ROUND12: 英文和訳、国税・地方税、漢字の知識、歴史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	4	ROUND13: 四字熟語、社会保障制度、各国の貿易 ROUND14: 方程式、各国の歴史、英語(単・熟語の知識)				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	5	ROUND14: 社会(政治・経済) ROUND15: 漢字の知識、英語(単・熟語の知識、並べ替え)、国会				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	6	ROUND11~15 確認テスト				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	7	ROUND16: 漢字の知識、歴史、図形の面積・体積				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	8	ROUND17: 日本語・英語のことわざ				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	9	ROUND17: 歴史、英文和訳、文学史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	10	ROUND18: 経済、名数、短歌・俳句				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	11	ROUND19: 漢字の知識、英単語の知識、人口の推移				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	12	ROUND20: 漢字の知識、英文補充、歴史				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	13	就職試験(WEBテスト)について				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
	14	WEBテスト問題演習				テキストの該当部分の復習(0.5時間)	
15	試験対策				試験範囲の部分の復習(1.5時間)		
評価方法	(1)定期試験 (2)小テスト (3)出席状況 以上を下記の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○		○		80%
	小テスト(筆記・2回)	◎	○		○		10%
出席状況				○		10%	
履修上の注意	特になし						

科目名	社会教養 I B					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	宮崎・村上・平田	
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験		
対象学科・学年	エアライン科1年					
授業概要	① 東京研修振り返り発表会において、各グループで協力し合って資料を作成し、プレゼンテーションする。 ② 就職試験に向けた必要な準備の仕方を学び、期限内に必要な行動をとることができる。 ③ 求職票を提出し、求職票受付面接に合格することができる。 ④ 就職活動のための業界・職種研究に取り組み、情報収集の仕方について学び、実践することができる。					
授業形式	講義： △	演習： ○	実習：	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
		○		○		東京研修振り返り発表会にて、資料作成をし発表することができる。
				○		就職試験に向けた準備の仕方を理解し、必要な準備を期限内にすることができる。
		○		○		求職票を提出し、求職票受付面接に合格することができる。
			○	○		就職面接時の立ち居振る舞い、発言方法の基本を理解し、行動できる。
テキスト・教材 参考図書	オリジナルプリント					
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示
	1	就職活動準備期の過ごし方/後期委員会決め				
	2	就職活動幹旋規定/求職票受付面接概要/自己PR作成				求職票の書き方を復習しておくこと。(1時間)
	3	求職票の書き方/業界・職種への志望動機作成				求職票の下書きをすること。(1時間)
	4	1・2年生交流会				質問内容を事前に準備すること。(1時間)
	5	自己PR作成/求職票の書き方				自己PRとして活用できる自身のエピソードをまとめておくこと。(1時間)
	6	東京研修振り返り発表会				各グループで事前準備をしておくこと。(1時間)
	7	就職実務 — 求職票受付面接でよく聞かれる質問集を確認				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	8	就職実務 — 自己PRの作成(自己PRのメインテーマを考える)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	9	就職実務 — 自己PRの作成(テーマに合うエピソードを考える)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	10	就職実務 — 面接練習の受け方・入退室の確認				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	11	面接練習(1)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	12	面接練習(2)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	13	面接練習(3)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	14	面接練習(4)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	15	面接練習(5)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	16	面接練習(6)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	17	面接練習(7)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	18	面接練習(8)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	19	面接練習(9)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	20	面接練習(10)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	21	面接練習(11)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	22	面接練習(12)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	23	面接練習(13)				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)
	24	求職票受付面接				指導された点は練習を行い、次回までに改善させておくこと。(1時間)

	25	企業採用担当者による模擬面接					
	26	就職実務 — 就職活動スケジュール、活動ルールの確認					
	27	就職実務 — 企業説明会の受け方、質問の仕方の確認					
	28	就職実務 — 求人票の見方、企業へのエントリーについて					
	29	就職実務 — 希望職種に合わせた準備の仕方					
	30	後期まとめ					
評価方法	(1)求職票受付面接の合否 (2)作文を提出する (3)就職関連の提出物を数回課す。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	提出物		○		○		40%
	求職票受付面接		○		○		40%
	作文				○		10%
履修上の注意	特になし。						

科目名	業界研究						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	令和3年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアライン科・1年						
授業概要	空港インターンシップを実施できない場合の代替科目として実施する。企業による業種・職種セミナーを受講し、グランドスタッフの主な業務内容を知り、その中で業界に求められる人財像や資質について考える。また、空港見学を実施し、航空機が到着し次便として出発するまでの一連の流れを確認する。多くの部署・スタッフがどのように連携して安全性・定時生を保っているかを学び、業界への理解を深めていく。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				グランドスタッフの業務内容について説明することができる。	
	○	○				航空業界における安全の重要性を説明することができる。	
			○	○		企業セミナー受講時のマナーを実践することができる。	
			○	○		航空業界について学んだこと、感じたことをまとめて発表することができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	企業セミナー受講について			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	2	企業セミナー(グランドスタッフの業務内容)			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	3	セミナー振り返り、求められる人財像について			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	4	福岡空港見学①(航空機到着から次便出発までの流れ)			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	5	福岡空港見学②(GSとGHのコミュニケーション、端末操作)			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	6	見学会振り返りと発表準備			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	7	セミナー・空港見学振り返り発表会			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	8	企業セミナー(安全性)			事前課題に取り組むこと。(1時間)		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)事前課題を数回実施する。 (2)学んだ内容をグループでまとめ、発表する。 評価は合格「R」か不合格「D」のいずれかとなる。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	事前課題実施状況		○		◎		50%
	発表				◎		50%
履修上の注意	特になし。						